

起因物、事故の型：その他の起因物 - 激突の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	16~17	院内プレイルームにて、リハビリテーション業務として担当児とトランポリンを跳んでいた。手をつないでトランポリンを跳んでいた際にバランスを崩し、トランポリン上で双方とも転倒し、同時に互いの頭部同士を強打した。	33	130201	10~29
1	13~14	派遣先作業現場にて、作業前に安全靴（スニーカータイプ）に履き替えようとして、立ったまま右脚を靴に入れようとした際に、同僚からの遅刻の連絡が携帯電話にかかったため、側にいた上司へ携帯電話を渡そうとしてよろけて、右足を安全靴に強く踏み込み、靴の内側の保護用鉄板がむき出しになった部分に右足親指の爪が引っかかり、爪が剥げ負傷した。	51	170101	—
2	18~19	老人介護施設にて介護員として就業中、利用者の食事介助をしていたところ、別の利用者に左腕を引っ張られ、左手が車椅子に激突してしまった。	54	170101	10~29
2	18~19	老人介護施設にて介護員として就業中に、利用者の食事介助をしていたところ、隣に座っていた別の利用者に左腕を引っ張られ、左手が車椅子に激突してしまった。	54	130201	30~49
2	10~11	製造2課盛付室にてAが作業車Bの後を移動中に作業車Bが急に振り返った。その際肩が接触したためよろめき転倒しそうになり、顔面と腰背部をコンベア台にぶつけて打撲した。	66	10109	100~299
2	10~11	調理場にて、スチームコンベクションオーブンの鉄板を持ち運んでいる時、スライド台に乗っている台下炊飯器が収納しきれず半分飛び出	57	140201	—

		していた為、左足を引っ掛け転倒し、右膝内側側面を炊飯器台の角に強打し打撲する。			
2	20~21	厨房内鍋場で炒飯を調理し急いで餃子場に戻る時、焼いていた餃子を焦がすと思い慌てていた為、誤って保温ジャーの台（ステンレス製）の角に足を強打した。左膝打撲となる。	63	140201	50 ~ 99
2	17~18	レストラン店内のメインの従業員の通路で本人と他の従業者が狭い通路をすれ違いざまに引っ掛かった形となって、本人が転倒して右膝と左の肘を床面で強く打った。夜のピークに差し掛かる前の時間帯で従業員が忙しく動いている時間での事故となった。	61	140201	50 ~ 99
3	14~15	床工事の際、部屋にある家具などを片付けないと工事を行えないため、外への出し入れ時、段差があり、そのときに右腕をぶつけて負傷した。	42	30209	1~ 9
3	7~8	寿司部作業場にて、シャリの入っている入れ物（35cm×25cm×45cm、重さ5kg）を右手で作業台奥から手前に持ち上げ動かした際に、ボキッと音がして右肩に痛みが発生し、その場にしゃがみこみ、立ち上がろうとした際に作業台の角に右肩を打った。	68	80209	50 ~ 99
3	6~7	作業のため車庫内にある車を移動させようと運転席に乗車したが、何かを思い出して降りたところ、近くに立て掛けていたタイヤの中に左足が入り込み、そのまま転倒して足首が逆折れした。	50	40301	30 ~ 49
4	15~ 16	休憩時間にトイレに行こうとした際、第二工場の出口付近で室内履きのサンダルから外用のサンダルに履き替えた時に、引っ掛かって足を捻り尻もちをついた。	47	11409	10 ~ 29
4	13~ 14	工場包装専用室内において、午後の作業を開始しようと準備していた時に、同僚と振り向きざまに接触して転倒し、床に左臀部を強く打ちつけた。	67	10109	50 ~ 99
4	19~	レストランフロア内でお客様より会計の申し出を受け、伝票をレジに届けようとしたところ通路にフロア係員が立っていた為、その後ろを通りレジへ向かおうとした。フロア係員はお帰りになるお客様が来たため導線を広	51	140201	50 ~

	20	くしようと1歩後退したところ、後ろを通過した被災者と接触した。被災者は衝撃で左斜め前方に体勢が傾き、壁際に停車させてあった台車下部に左足甲の部分をぶつけ、強い痛みと腫れが生じた。			99
4	0~1	作業場で待機後、作業を再開する為に動いた瞬間につまずき、顔をキャリアにセットしていた治具にぶつけ、眉毛と目の間を切創した。	52	11502	100 ~ 299
4	10~ 11	通路で従業員が米（重量30kg）を持っていた際、右に米を移動した時に従業員（被災者）に気がつかずふり向いて衝突した。はじき飛ばされ転倒し、左手をついて骨折した。	64	140201	10 ~ 29
4	15~ 16	ナースステーションにて電話対応しており担当者に電話をかわろうとした時に、カウンターと机の間が狭く動きづらく他職員が来られた時のはずみでイスをよけきれず左アキレス腱付近を負傷した。様子を見ていたが痛みが治まらず、歩行に違和感がでた。	25	130101	50 ~ 99
5	11~ 12	マンションの駐車場外周の樹木剪定作業中、駐車場の塀の外側に落ちた切枝を片付ける為に高さ1.5m位の塀を飛び越えた際、着地した場所がコンクリート敷で衝撃があり、右踵部分の骨にひびが入った。	22	30199	1~ 9
6	17~ 18	1階食堂にて、入居者様の口腔ケア介助をしている際に、入居者様が当人の左中指を強く掴み振りほどこうとした時に、強く捻じられ、その反動で洗面台に左中指を打ちつけてしまった。	37	130201	30 ~ 49
6	20~ 21	フィールドでのセッティングの作業が終わり移動中、トラックでウォーミングアップ中の選手と接触した。	45	170209	10 ~ 29
7	15~16	救助袋の上部金具を引き込むときにバランスを崩し、後ろに倒れそうになったところ、片足で踏ん張った際に右足踵を強打し、負傷した。負傷当日は大したことがないと思ったが、症状悪化。補足緊急脱出救助袋の点検時、踵を床に強打した。	55	80209	10 ~ 29
		事業場のレジにて、お客様対応時に、レジ下に設置されていた引き出しに			

7	15~16	右大腿部を強打。レジ業務中、引き出しが出ている状況だった箇所で強打した。	24	80109	—
7	13~14	作業室内において、利用者の方の創作活動の支援中に、突然利用者が前方より小走りに近づき、押されたために、後ろにあった机で背中を強打し、倒れたところにあった机の脚の部分でも、強打した。	59	130201	10 ~ 29
7	16~17	勤務中に荷物を移動する際、転倒して店内出入口に背中を強打した。店内のレイアウト変更のため別のスタッフと大きなカウンターを運んでいたところ、別のスタッフと呼吸が合わず、バランスを崩して後方によろめいた際、背部にあった柱の角に背中をぶつけ負傷した。	35	80209	1~ 9
7	7~8	整備工場内で、ショックアブソーバーのオーバーホール作業中、スプリングが顎に当たり怪我をした。	55	40201	100 ~ 299
9	13~14	休憩が終わり、午後の勤務につく前に総合受付内を移動中、コピー機の横に置いてあった封筒入りのダンボール箱（250×400）に左膝下を打撲し受傷した。数日後、左下腿後面に疼痛・腫脹がみられ徐々に憎悪した。	49	130101	500 ~ 999
9	14~15	支社主催の研修、合宿でスポーツリクリエーションとしてフットサル大会を開催した。本人が同支社の別のライフプランナーと衝突し、相手の膝と本人の右膝がぶつかったため骨折した。	40	90103	—
9	15~16	サービス工場にて、整備車両のオイルフィルターを取り外すため、工具を使って緩める作業をしていたところ、力を加えた際に誤って工具から手が離れて、エンジンルーム下部に左手を打ちつけた。	36	80202	300 ~ 499
11	22~23	ホームで乗務（車掌）状態監視中、顔面に殴られた様な衝撃を受けた。顔面に強い痛みと鼻より多量の出血があり代替乗務員の手配後、病院を受診した。	27	40101	300 ~ 499
11	14~15	堆肥センターにてペレット鶏糞の製造作業中、機械の点検時、誤って手を突っ込み、慌てて引き抜いた際に、鉄柱に右側頭部を強打したことによる脳震盪の発生及び受傷前後の記憶障害となった。	26	70101	10 ~ 29

11	17~18	病院内3階食堂において入院患者の食事のための移動の付き添いをしていたところ、患者が椅子を引いた際に後ろ向きに倒れそうになったのを支えようとしたが、体勢を崩し患者の下敷きになる形で転倒した。その際に左の股関節を損傷してしまった。	39	130101	50 ~ 99
12	7~8	下膳用の台車を通路所定位置に片付けて厨房へ戻ろうと振り返ったときに、同じく下膳用の台車を片付ける別の従業員が自分の真後ろにいることに気付き、避けようとしてバランスをくずし、通路の柱に左手の甲部分を強打してしまった。	66	80209	50 ~ 99
12	23~24	店舗内バックヤードゴミ捨て場に向かう際、床に置いてあった粗大ゴミに躓き、反動で左足膝脛骨を折った。	65	140201	10 ~ 29
12	12~13	派遣先において業務中、1才児のクラス内にあるトイレで、子供のトイレを済ませ、抱き上げて移動しようとした際、置いてあったおまるに右足小指を強打し受傷した。	45	170101	100 ~ 299
12	13~14	当社営業所デイサービス施設フロアにて、使用した折りたたみ式簡易ベッドを片づけるときに、前傾姿勢になり足元をよく見ず、誤ってベッドの鉄のフレームで左くるぶし辺りをぶつけて負傷した。	54	130201	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html